

あかの四季彩

網野町の人口(人)			
	R2.10末	R2.11末	前月比
0~14歳	1,193	1,189	-4
15~64歳	6,514	6,496	-18
65歳~	4,842	4,847	+5
合計	12,549	12,532	-17

島津地区 若い世代へ福祉の学びを

ふれあい福祉まつり

11月23日、島津ふれあいセンターにて、地元小学生を対象に「令和2年度ふれあい福祉まつり」が開催されました。今回のイベントでは、京丹後市社会福祉協議会網野支部の山本薫さんから「福祉とは何か」というテーマでお話があり、参加した子どもたちは意見を交わしながら福祉について学びました。山本さんのお話の後には、地域の皆さんが手作りした巨大なオセロゲームやボウリングを笑顔で楽しむ姿が見られました。

地域の子どもたちに向けて初めての開催となった今回のイベントは、コロナ禍ということもあり参加者を小学生限定として行われましたが、「来年以降も今回のような若い世代に向けたイベントを行ってほしい」と、足達島津連合区長は話していました。



お話を聞く子どもたち



大きなオセロゲームで楽しみました

こども園・保育所 イルミネーション

子ども達へ 光のクリスマスプレゼント

12月11日から1月31日まで、「未来を担う丹後の子ども達に光のクリスマスプレゼント」と題し、市立こども園・保育所10箇所イルミネーションが飾られています。

この取り組みは、市電機商業組合をはじめ、電気工事業者や商工団体・業者等の有志により行われており、網野町は網野こども園、たちばな保育所、島津保育所の3箇所です。17時から21時30分まで点灯します。



網野こども園で煌めくイルミネーション

区長会 網野の未来像を考える

新たなコミュニティづくりについて研修

12月3日、アミティ丹後にて「令和2年度網野町区長会研修会」が開かれました。区長連絡協議会の井本会長（浅茂川区長）の挨拶の後、特定非営利活動法人きょうとNPOセンターの久保友美さんを講師に招き、市が提案する「新たなコミュニティの必要性」について、お話いただきました。

新たなコミュニティを本当につくることができるのだろうか…といった不安に、久保さんは「まち歩きをしてそれぞれが感じている課題やお気に入りスポットなどを共有したり、困りごとやモヤモヤしていることを気軽に話し合うなど、地域の皆さんの参加機会はいつでも開かれています。」と話し、「地域の課題を地域だけで抱え込まないことが大切であり、地域外の人々や新住民（U・Iターンなど）と関わっていく機会を増やすことが解決の糸口に繋がる」との内容に、参加者の皆さんは熱心に聞き入っていました。



講演を聞く参加者の皆さん



講師の久保友美さん

新型コロナウイルスの蔓延で耐え忍ぶ年になった2020年も、残りわずかとなりました。

2021（令和3）年は、「丑（うし）年」です。「丑」という漢字はものを強く握っている手の形を表しています。

“賑わいあふれる網野のまちづくり”を進めるため、皆さんと手を握り合い、牛の歩みのように、先を急がず一歩一歩着実に進められる年になりますように…

